

# 新型コロナウイルスに対する自費検査の概略について

COVID-19検査センター センター長 准教授 やの 矢野 しょうぞう 彰三

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染対策と社会経済活動をいかにして両立させるかが議論され、最近では、社会経済活動の中で本人等の希望により全額自己負担で実施する検査（いわゆる自費検査）のニーズが高まってきています。このような検査ニーズに対応するため、当院 COVID-19 検査センターでは、感染者と接触のない無症状の希望者を対象として、自費検査としての COVID-19 検査を開始することに致しました。

検査は予約制とし、病院1階のライトコートに設置したブースで唾液検体の採取を行います。抗原定量検査（またはPCRによる核酸検出）を速やかに実施し、結果を報告致します。また、ビジネスや旅行等で陰性証明書が必要な場合は、1通2,200円（税込）で交付します。海外渡航用は英語版も発行します（パスポート番号が必要です）。概要は以下の通りです。

迅速・正確でリーズナブルな当センターの自費検査を是非ご利用ください。

- ① 申込は平日10:00～15:00の間に、下記の予約専用電話にお願いいたします。メールでの申込はできません。問い合わせにしましてはメールでお願いいたします。
- ② 検査は平日の15:00～16:30に限定し、完全予約制で行います。
- ③ 検査料は、1検体あたり抗原定量：5,800円、PCR：15,300円（いずれも税込）です。  
※検査は正確を期して行いますが、偽陽性・偽陰性が生じ得ますのでご注意ください。
- ④ 陰性証明書は1通2,200円で交付いたします。
- ⑤ 検査結果はメールで通知いたしますが、証明書にしましては原則郵送にて行います。

詳細はHPでご確認ください。

**問合せ先** COVID-19検査センター 自費検査予約専用電話：090-9821-7995  
メールアドレス：covid-yoyaku@med.shimane-u.ac.jp

※注意：症状のある方や新型コロナウイルス感染を疑う方は、自費検査の対象になりませんのでご注意ください。

## 島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

1月15日～2月14日 対象者： **一般** 一般市民 **医療** 医療関係者 **本学** 本学教職員・学生

開催日	開催名	場所（★印 学外開催）	対象者	主催者
1/15(金) 9:30～11:30	2020年度 島根県がんピアサポーター相談会	外来・中央診療棟3階 がん患者・家族サポートセンター	一般	島根大学医学部附属病院 がん患者・家族サポートセンター
1/18(月) 18:00～19:00	2020年度 臨床研究・統計セミナー 「品質マネジメント」	Microsoft Teams によるライブ配信	医療 本学	島根大学医学部附属病院 臨床研究センター
1/23(土) 17:45～19:00	第27回 出雲リハビリテーション研修会	★出雲市民会館302研修室	医療	出雲リハビリテーション 研修会
1/24(日) 15:00～17:00	もの忘れと不安に悩んでいる方のための こころの健康講座	看護学科棟1階 N11講義室	一般	島根大学医学部 法医学講座
1/30(土) 13:00～15:45	厚生労働省 造血幹細胞移植医療体制整備事業 ベータシクWEBセミナー	Zoomによる オンライン配信	医療	島根大学医学部附属病院 (島根県拠点病院)
2/4(木) 18:00～19:00	2020年度 臨床研究・統計セミナー 「解析と結果の公表」	Microsoft Teams によるライブ配信	医療 本学	島根大学医学部附属病院 臨床研究センター

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



# NEWS

## CONTENTS

- ・年頭のごあいさつ 2021
- ・COVID-19検査委受託の仕組み変更について
- ・新型コロナウイルスに対する自費検査の概略について
- ・島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報



## 年頭のごあいさつ 2021

病院長 いがわ みきお  
井川 幹夫

あけましておめでとうございます。昨年も地域の医療機関から多くの患者さんをご紹介いただき、誠に有難うございました。一方では、昨年12月に本学学生に新型コロナウイルスのクラスターが発生し、地域の医療機関の皆様にはご心配とご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。クラスターのうち学生1名が実習を行った病棟の入院患者さんと退院された患者さん、学生と接触の機会があった医療スタッフを対象としてPCR検査を行い、全員陰性であることを確認しています。昨年12月11日以降に入院された患者さんには、入院時に抗原定量検査を実施しています。病棟実習を行う学生、医療スタッフに対する定期的な抗原定量検査は検討課題としております。いずれにしましても、患者さんを安心してご紹介いただける環境を整えますので、ご理解くださいれば幸いに存じます。

都道府県がん診療連携拠点病院としてのハブ機能を果たしているがん診療については、がんゲノム医療連携病院としての役割を担うとともに、昨年9月に稼働を開始したPET-CTにより診断機能が向上しています。再発または難治性のCD19陽性急性白血病、リンパ腫に対するCAR-T細胞療法の開始する体制も構築しています。脳神経内科、脳神経外科に加えて、高度脳卒中センターの設置、教授の配置により脳卒中治療が充実し、日本脳卒中学会から一次、二次脳卒中センターの認定を受けています。さらに脳卒中ケアユニット(SCU)の設置を計画しており、総合的に脳卒中に対応できる体制とします。

本年も先進的医療・高度医療の開発と提供、がん医療、急性期医療と救急医療の充実、優れた医療人の養成、透明性の高い医師派遣の実施、臨床研究、災害医療対応等を一層推進し、大学病院として地域の医療に一層貢献できるよう日々改善に努める所存ですので、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## COVID-19検査委受託の仕組み変更について

COVID-19検査センター センター長 准教授 やの しょうぞう  
矢野 彰三

当院では、COVID-19検査センターを中心に県内約30医療機関から新型コロナウイルスに対する委受託検査を実施しています。多くの依頼をいただき、誠にありがとうございます。契約締結した医療機関には既に連絡しておりますが、委受託の仕組み変更についてお知らせいたします。

これまで委受託検査については、全自動PCR装置 GeneXpert システム GX-XVI(ベックマンコールター) および Light Cycler 480II(ロシュ)を用いた核酸検出を行ってききましたが、この度、ルミパルス G600II(みらかホールディングズ・富士レビオ)による抗原定量検査を導入し、12月1日より稼働を開始しました。これに伴い、検査時間のさらなる短縮と低価格化が実現しました(表)。検体は、これまで通り唾液のみとします。今後は、基本的には抗原定量検査を実施しますが、希望によりPCRも可能です。



写真：当院に導入されたルミパルス G600II (みらかホールディングズ・富士レビオ)

引き続き、当院の委受託検査をご利用いただきますようお願い致します。

問い合わせ先

島根大学医学部附属病院COVID-19検査センター

TEL:080-7539-8296 メールアドレス: pcrcenter@med.shimane-u.ac.jp

表

検査方法	PCRによる核酸検出	抗原定量
検査時間(1検体)	1～4時間	1時間以内
検査料(1検体・送料別)	13,567円(税込)	4,800円(税込)



# ご報告

島大病院ニュース 2021年1月

## 厚生労働省 総合的な診療能力を持つ医師養成推進事業について

地域医療政策学講座(地域医療教育学講座) 特任教授 ひろせ まさひろ  
瀬 昌博

島根大学は、この度、医学部から申請しました「厚生労働省総合的な診療能力を持つ医師養成推進事業実施団体」として、全国6大学(秋田大学、福島県立医科大学、新潟大学、福井大学、三重大学および本学)のうちの一つとして選定されましたのでお知らせいたします。

さて、わが国における総合診療専門医の資格取得には、日本専門医機構に所属する日本プライマリケア連合学会によって認定された各研修病院において、総合診療専門研修プログラムにしたがい、専門研修を受けることが必要です。本学では総合診療専門研修プログラムは総合医療学講座によって運用されています。そのほか、島根県では図に示すように本学以外に10のプログラムが運用されていますが、本厚生労働省事業においては、いずれの専門研修プログラムも円滑に運用され、研修医師が十分に満足できる研修となるよう、今回、医学部附属病院にあらたに設置される総合診療医センターがサポートするものです。そのために、島根県をはじめ、総合診療医専門研修プログラムを保有する病院との連携を強化し、オール島根で総合診療医を養成します。

そして、その総合診療医センターが設置されますと教授があらたに就任します。その教授には総合診療医としてのロールモデルとなり、若手医師や医学生などがキャリアパスを形成するうえで相談相手となる、素晴らしい総合診療医を選任する予定です。

このように本事業においては、総合診療医を養成するシステムも新任教授もわが国の総合診療医養成の起爆剤となるよう期待しています。

### 厚生労働省総合的な診療能力を持つ医師養成推進事業

診療・教育・研究の3機能を有する総合診療医センターによる総合診療医の養成に関する戦略的プロジェクト(しまねモデル)

当院に新設される総合診療医センターおよび各プログラム運用医療施設に新設される総合診療医育成センター(仮称・施設によって呼称は異なる)を軸として、島根県、総合診療専門研修関連諸機関と連携し、総合診療専門医育成ネットワークを通じて、本プロジェクト独自の研修アイテムにより、総合診療医を養成する。

### 卒後研修：総合診療専門研修

島根大学医学部附属病院総合診療医センター(新設)

- 卒前教育分野(地域医療教育学・支援学・政策学講座等)
- 初期研修分野(卒後臨床研修センター等)
- 後期研修分野(総合医療学・総合診療医育成学講座等)
- 生涯研修分野(総合医療学・総合診療医育成学講座等)
- キャリアサポート分野(クリニカルスキルアップセンター、病院医学教育センター等)

### しまね地域医療支援センター

- 総合診療医コンピテンシー能力の涵養
- ・総合診療医に求められる知識とスキルの体得
- ・グローバルな視点、リサーチマインド
- ・Professionalism, Medical Ethics, Leadership, Public Health

### 県内10プログラムの連携強化

- ・松江生協病院総合診療専門研修プログラム
- ・津和野共存総合診療専門研修プログラム
- ・島根県立中央病院総合診療専門研修プログラム
- ・出雲市民病院・出雲家庭医療学センター総合診療専門研修プログラム
- ・出雲徳洲会総合診療プログラム
- ・雲南市立病院総合診療専門研修プログラム
- ・総合診療専門研修仁寿・川本あいあいプログラム
- ・島根県済生会江津総合病院総合診療専門研修プログラム
- ・浜田市地域包括ケア総合診療専門医コース
- ・島根大学病院総合診療専門医コース

### 総合診療医育成ネットワークによる連携強化

### 総合診療専門研修特別アイテム

- ◇ 地域医療・地域包括ケア指導者育成コース(博士)
- ◇ 社会医学系専門医 ◇ 女性医師復帰支援 ◇ 地方回帰医師支援

### キャリア形成支援プログラム



2021年1月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



# ご報告

島大病院ニュース 2021年1月



## 第4回 新生児マススクリーニング講習会を開催しました

こばやし ひろのり  
小児科 助教 小林 弘典

2020年11月29日、第4回新生児マススクリーニング講習会を開催しました。島根大学医学部附属病院の難病総合治療センター検査部門は島根県からの委託を受け、島根県で産まれた赤ちゃんを対象に「新生児マススクリーニング検査」を行っています。講習会では島根県内の分娩を扱う医療機関の医師・コメディカル、

新生児マススクリーニング講習会の一場面



行政関係者が集まり、新生児マススクリーニングに関する勉強会をしています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web参加を含めたハイブリット開催を行いました。会場では十分な感染対策を実施しつつも、WebでLIVE配信し、さらに後日オンデマンド配信も行いました。スタッフにとっても初めての試みであり、何度もリハーサルを行い当日に臨みました。その甲斐あって、当日は沢山のご参加をいただき、日曜日の午後にも関わらず会場24名、Web参加48名と例年のおおよそ倍の参加者でした。講習会では、この分野に初めて関わる方々を対象とした初歩的な講義から、島根県におけるスクリーニングの現状の共有、全国的な潮流、新しく当院で提供開始予定の「追加の新生児マススクリーニング検査」の事など、多くの事を一緒に勉強しました。井川病院長や島根県健康推進課の谷口課長もご多忙の中にも関わらず、最後までご参加いただき、改めて島根県で周産期医療に関わる方々の情熱を感じる会になりました。ご参加いただいた方々には改めてお礼を申し上げます。

### 新生児マススクリーニングとは?

新生児マススクリーニングとは、生まれつきの病気のうち、知らずに放っておくと後に障がいをもたらすような病気を発症する前に見つけてあげて、症状がでる前に治療をして障がいなどが残ることを予防しようとする、優しい仕組みです。島根県では現在25種類の病気を検査しています。赤ちゃん達は生後5日目前後に数滴の血液をろ紙に染みこませて採取され、これらが島根大学に送られてきます。様々な病気を対象としていて、年に数人の赤ちゃんがこのスクリーニングの恩恵を受けています。



2021年1月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





# ご報告

## 高度脳卒中センター副センター長就任のご挨拶

高度脳卒中センター 副センター長 講師 あべ さとし  
安部 哲史

この度、高度脳卒中センターの副センター長を拝命致しました安部 哲史です。これまで脳神経内科医として脳卒中や認知症など神経疾患の診療に携わって参りました。

2019年12月の脳卒中对策基本法の施行から1年が経過し、日本全国どこにお住まいの方でも、同じように脳卒中診療を受けることができるよう診療体制の整備が進められる中、当院に高度脳卒中センターが開設されました。



脳卒中は「専門性」と「時間との闘い」を両立させながら対応しなければならない疾患です。静注血栓溶解（rt-PA）療法や血管内治療など、近年の急性期脳梗塞治療においては画期的な進歩がみられます。これらの治療を行うには、時間的な制約を受けつつも、地域医療機関をはじめ、脳神経内科、脳神経外科、救命救急センターの緊密な協力体制が重要です。後遺症に対するリハビリテーション療法や退院後の自宅療養、回復期病床への転院を円滑に進めるために、リハビリテーション科、地域医療連携センターとの協働も必須です。また、再発・重症化を阻止し、患者さんやご家族の生活の質を改善させるためには、介護福祉機関、市や保健所などの行政機関と連携を図る必要があります。

健康寿命の延伸を目指し、脳卒中診療におけるこれらのチームワークをよりいっそう向上させるべく、その原動力となるよう努めて参りたいと思います。今後ともお力添えの程、何卒よろしくお願い申し上げます。



# ご報告

## 出雲キャンパスクリーンデー(11/25)の実施について

医学部会計課施設管理室長 よねはら まさたか  
米原 昌隆

例年、10月に開催される諸行事（解剖体慰霊祭、大学祭、オープンキャンパス）に合わせて計画している第2回目のキャンパスクリーンデーですが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、諸行事は規模を縮小・中止・オンライン開催の運びとなったことから、今年は時期を1カ月遅らせて、11月25日（水）に実施しました。

当日は、晩秋も終わる時期ではありましたが、風もない穏やかな天候の中、約100名の職員が医学部区域を中心に、道路脇や建物周辺に集まっている落ち葉の回収作業や植栽周りの除草・剪定及び回収作業に従事しました。作業後はとてもさっぱりとした景観となりました。





島大病院ニュース 2021年1月

# ご報告



島大病院ニュース 2021年1月

# ご報告



## 清掃ボランティア (出雲土建(株)・中国環境(株))さんにお世話になりました

会計課施設管理室

当院では、定期的に清掃ボランティアさんのお世話になり、草刈り清掃等の環境整備を行っていただいています。

今回は、11月21日(土)に行っていただいた、出雲土建(株)さんと、中国環境(株)さん合同での活動を報告します。毎年この時期に合同で環境整備に汗を流して頂いています。当日は多少曇り空ではありましたが、この季節には珍しく温かい気候の中、8時30分から10時30分の2時間、総勢35名の多くの方にお集まりいただき、病院正門の池の周辺から立体駐車場の南側、西門の通路近辺まで、広範囲の草刈り清掃で大変綺麗にさせていただきました。特に病院の玄関である池周辺は駐車場からの動線で、患者さんの視線で一番目につく場所として、気になる場所です。広い範囲は草刈り機を活用し、植栽の脇から生えている雑草は丁寧に鎌で手入れをしていただき、メリハリのある仕上がりとなりました。これにより患者さんも快適な環境の中で気持ちよく来院し、治療を受けていただけることと思います。

当院の環境整備は、地域の皆様のボランティア活動に支えられています。そして、当院も医療を通して、地域貢献できるよう努力したいと思います。ボランティアの皆さんいつもありがとうございます。



2021年1月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



## 快適な通院・通勤環境を目指して ～職員駐車場の整備について～

会計課施設管理室

島根大学医学部ではキャンパス全体で年次的な駐車場の整備を立案し、2015年度より順次整備を行い、今年で6年目となります。

2020年度は看護師宿舎南側に職員駐車場の増設整備を行い、12月より運用を開始しております。

この度の整備では看護師宿舎南側の空き地を有効利用して34台分の増設整備を行うとともに、医学部会館西側駐車場においても7台分の拡幅整備を行うことで、合計41台分の整備を実施しました。これにより出雲キャンパスでは2,359台の駐車スペースを確保することになります。

また、この増設整備を行ったことで、これまで枠外駐車となっておりました一部車両を適正に駐車することが可能となり、患者さんにもより快適に通院をして頂けるものと思います。

今後もキャンパス全体の利便性を考慮した駐車場整備の実施や検討を行い、来院される患者さんや教職員がお互いに気持ちよく利用できるよう、より快適な環境整備を行ってまいります。



工事前



2021年1月 発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





# ご報告

## サーモグラフィーカメラの増設について

医療サービス課

島根大学医学部附属病院では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対応として、当院玄関、救命救急センター出入口にサーモグラフィーカメラを設置し来院される患者さんの検温を行うとともに、各外来受付においても非接触型電子体温計による検温も行っております。

また、本学教職員には病院内でのマスクの着用、アルコール手指消毒はもとより、医師、看護師をはじめとする全職員に対して以下のとおり感染対策を行っています。

- ① 健康管理表の作成の義務付け（毎日の体温、風邪症状、倦怠感等の健康状態を確認・記載する）。
- ② 出勤にあたり体調の変化等、新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる兆候が無いことをチェックし、その結果を所属長が確認する。
- ③ 定期的に当院感染制御部において、これらの確認が正しく行われているかどうかについての確認を行う。

さらに、病院出入口での教職員のアルコール手指消毒の徹底に合わせ、この度、病院2階の医学部・医学部附属病院ゾーン出入口【写真1】並びにC病棟1階北渡り廊下（時間外出入口）【写真2】にもサーモグラフィーカメラを増設し、病院玄関ホール【写真3】、救命救急センター出入口【写真4】と合わせ、計4台のサーモグラフィーカメラの設置により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対応として改めて来院者及び職員への注意喚起を行いました。

これからも患者さんに対し適切な医療を提供するために、職員一同引き続き安心・安全な医療提供体制を築いてまいりますので、よろしくお願いいたします。



# ご報告



病棟南側の電飾全景・・・原稿冒頭部分に関連

枝垂れ桜電飾の全景、病棟玄関を背にして、防火用水池に光の一部が

## 病院玄関前の枝垂れ桜に電飾点灯

会計課

2020年11月19日（木）、恒例のイルミネーション点灯式を病棟南側庭園にて行いました。当日はあいにくの小雨ではありましたが、井川病院長挨拶の後、約1万球を使用したイルミネーション点灯、子供たちによる「あわてんぼうのサンタクロース」、「赤鼻のトナカイ」合唱や着ぐるみを纏った看護職員によるハンドベル演奏で大いに盛り上がりました。

また今年は、病院玄関前の枝垂れ桜にも新たに白色のLEDライト約5千球を飾り付け、同時刻に点灯を開始しました。

2年前に病院玄関前にもシンボリックな電飾を設けたい構想から、高さ約9メートルの水銀灯支柱を利用し、白・青2色の巨大ツリーに見立て、夕方から深夜まで毎日点灯させてきました。しかしながら、経年によるLEDライトの劣化・消灯が目立つようになってきたため一旦点灯を休止し、替わって病院玄関前の高さ約8メートル、春には「ソメイヨシノ」より一足早く開花し、患者さんや職員に優美な景色を見せる「枝垂れ桜」を飾り付けることとしました。高所作業車2台を駆使し、なるべく枝の先端部分までLEDライトが行き渡るようにしました。現在は裸木のため、若干まばゆく感じられますが、来年春の開花時には、ピンク・グリーン・ホワイトの色の組み合わせがどのように映えるのだろうかかと心配とともに期待しつつ、この後、水銀灯支柱の巨大ツリーとの同時点灯も実現できれば、と考えております。

余談ですが枝垂れ桜の花言葉は、「優美」、「円熟した美人」、「ごまかし」だそうです。何故「ごまかし」なのか気になるところです。





# ご報告



# ご報告



## うさぎ保育所のクリスマス会について

総務課

12月17日(木)は、うさぎ保育所の『クリスマス会』でした。前月終わりから、朝の会や各クラスでクリスマスソングをみんなで歌い、サンタさんがプレゼントを持って来てくれるのを心待ちにしていた子どもたち。当日はひまわり組園児のキャンドルサービスで厳かに始まり、クリスマスツリーに灯りがとるとみんなが歓声を上げて見入っていました。年長児さんによる「森のクリスマス」の劇ではかわいいサンタさんや動物さんの登場にみんなの目が釘付けでした。



今年はコロナ禍のため、保護者の方の参加は無しとなり、サンタさんからも手紙が届き、「うさぎ保育所には行けなくなったけど、プレゼントは届けたからね❤️」のメッセージにがっかりしたり、また気を取り直して喜んで…。それでも保育士扮するサンタさんとトナカイさんが、一人ひとりにプレゼントを手渡してくれるとみんな大喜びでカメラに向かってポーズをとっていました。

給食室からはトナカイを形どったハンバーグがメインの昼食とツリーケーキのおやつで豪華なクリスマスメニュー!! 例年とは少し違う形でのイベントとなりましたが、心もお腹も満足のクリスマス会となりました。



## 過去最多の48名(医科46名、歯科2名)の専攻医・後期研修医が誕生(2021年度)

おにがた かずみち  
鬼形 和道  
卒後臨床研修センター センター長

皆さま、朗報をお届けします。2021年度の専門研修専攻医の第一次募集が締め切られ、島根大学医学部附属病院を基幹病院とする専攻医および歯科後期研修医数は過去最多の48名が登録されました。内訳は表に示した通りですが、内科領域および外科領域がそれぞれ18人と5人と過去最多となっています。さらに、耳鼻咽喉科領域でも専攻医が誕生します。

— 昨年の初期研修医が64人と過去最多であったことも背景となっていますが、一方でCOVID-19感染症の影響もあるかも知れません。また、県内の市中病院を基幹施設とする専攻医は14人と発表されており、県内の専攻医の合計は60人となります。数年前には予想できなかった数字です。

県内の連携施設において専門研修をおこなう専攻医が増加しており、皆さまには大変お世話になっています。改めて御礼申し上げます。新専門医制度も4年目となり、各基本領域の研修を修了する者が出てきます。次のステップであるサブスペシャリティ研修の支援も行っていく所存です。

専門研修専攻医・歯科後期研修医登録者数(人)

基本領域名	募集定員	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
内科	30	12	15	8	18
皮膚科	4	1	2	1	2
形成外科*	1	0	0	0	0
小児科	5	2	3	2	3
外科	10	3	3	3	5
整形外科	5	5	1	1	1
脳神経外科	3	1	1	1	3
泌尿器科	6	2	0	0	2
精神科	6	1	2	4	0
産婦人科	7	3	2	2	2
耳鼻咽喉科	2	0	0	0	1
眼科	3	1	0	4	0
放射線科	5	3	1	3	1
麻酔科	12	2	3	2	2
救急科	5	0	2	3	3
臨床検査	1	0	0	0	0
病理	2	1	0	1	1
リハビリテーション科	3	0	0	2	2
総合診療	3	0	0	0	0
歯科口腔外科	若干	1	4	0	2
合計	113	38	39	37	48

\*長崎大学の連携施設として募集





# ご報告

島大病院ニュース 2021年1月

## ワークライフバランス週間

# 応募作品の表彰式を行いました

ワークライフバランス支援室 室長 たなか まなみ  
田中 真美

当院は、すべての職員が「仕事と家庭の調和」を実現できる職場づくりをめざして活動しています。毎年、出雲キャンパス職員全員が働き方について考えるきっかけになればとの思いから11月23日の勤労感謝の日をはさむ一週間を「ワークライフバランス週間」としています。今年度も活動の一環として、ワークライフバランス支援室と看護部が連携を図り『WLB川柳』『各部署のWLB実践例』を職員より募集しました。コロナ禍の5月に募集した『あなたの「おうち時間」の過ごし方』の応募作品もあわせて全応募作品を対象に職員投票を行い優秀作品の選出をしました。そして各賞を決定し、12月8日に第7回目となる「WLB週間応募作品表彰式」を開催しました。井川病院長より受賞者の職員へ表彰状と副賞が贈呈され、終始和やかな式典となりました。



今年は、「オンライン」、「コロナ」、「人気アニメ」等のキーワードが含まれた作品が多く寄せられ新型コロナウイルスによる生活の変化が映し出されていました。これらの作品は、掲示板、ホームページに掲載しています。コロナ感染症終息の見通しがもてない不安やストレスを抱え生活している状況の中で少しでも職員の心にゆとりがもて癒しにつながればと今後も引き続きワークライフバランス支援の活動に取り組んでいきたいと思ひます。

### <WLB川柳優秀作品一覧>

- ◆井川病院長賞 **ノ一残業** 目指して 今日も 全集中  
プースカママさん
- ◆鬼形医学部長賞 **ときめきは** 夫に変わり 孫の顔  
もしもしさん
- ◆田邊副病院長賞 **出来るなら** やってみたいな 在宅勤務  
りんごあめさん
- ◆森田副病院長賞 **蜜を避け** GO TO ふとんで 疲れとる  
匿名希望さん  
※受賞理由：まず冒頭の「蜜を避け」が面白い。「蜜」が蜂蜜の「蜜」であり、「甘い汁」のような意味でしょう。続く「GO TO ふとんで疲れとる」を合わせて、会食や旅行などの甘い汁を吸うことは避け、布団の中で疲れをとることに決めたと、この作者の意図が汲み取れ、フブと思わず微笑みました。さらに「蜜を避け」が「蜜を避け」とコロナ感染回避に架けてある点が秀逸です。
- ◆齊藤副病院長賞 **ソーシャルディスタンス** 心の距離は 離さない  
オンライン飲み会しようさん
- ◆磯部病院長補佐賞 **寝落ちて** 急いで出勤 あら土曜  
こめっ子さん
- ◆秋山病院長補佐賞 **テレワーク** 育児も料理も ワークシェア  
照れわく男さん
- ◆長井病院長補佐賞 **育休が** パパでもとれる 時代だなあー  
こたつ虫さん
- ◆安友事務部長賞 **減りたい** コロナと残業 体脂肪  
ねずこさん

### <「あなたのおうち時間の過ごし方」優秀作品>

- ◆WLB支援室長賞  
我が家の「おうち時間」は夫婦での「ごっこツアー」だ。この2か月でハワイやメキシコにも行った。最近では「高級ホテルinラウンジ」や「カフェ」にも行った。テーマの料理をし、テーマにあった本気の服装に着替えて臨むのだ。楽しむ秘訣は服装や流す音楽などもテーマに寄せること。「何やっているんだらうね」と言いながら毎回大盛り上がりだ。

### <WLB実践例 好実践例>

- ◆看護部 PNS 推進委員会賞  
日勤の人が早く帰れるように、ロング勤務の人が笑顔で「残っている仕事はもうあるので、早く帰ってください」と言って補完している。



# ご報告

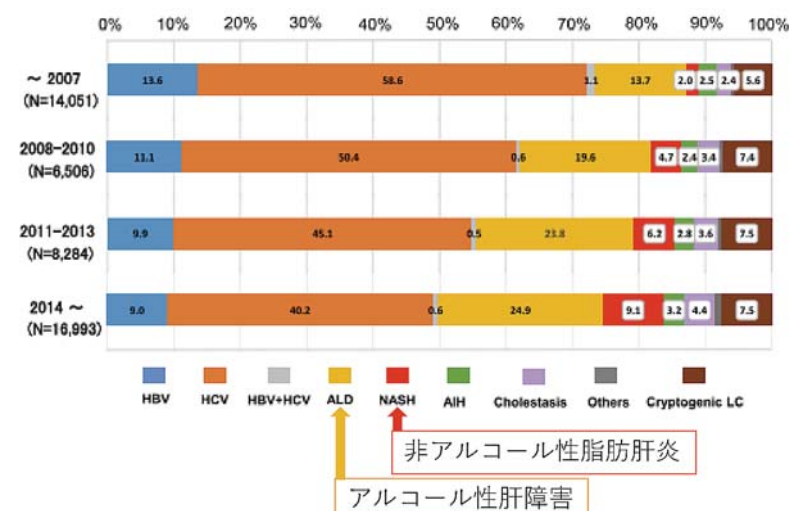
島大病院ニュース 2021年1月

# 肝疾患の現状と当院における対策

肝臓内科 診療科長 助教 とびた ひろし  
飛田 博史

日本における肝疾患の様相は随分と様変わりしています。肝硬変の原因疾患は、2007年まではB型肝炎とC型肝炎で70%以上を占めていましたが、特にC型肝炎の治癒率の向上によって、2014年以降は50%程度にまで減っています(図)。C型肝炎は内服薬である直接作用型抗ウイルス薬(Direct Acting Antivirals; DAA)によって、最短8週間でほとんどが治癒します。肝臓内科では医療情報部と協力して、当院で検査を受けてHBs抗原あるいは抗HCV抗体が陽性であった方を拾い上げ、助成制度を利用して精密検査と治療を受けていただいております。C型肝炎は、DAA治療による治癒後3年間で約5%に肝癌が発症しますので、治癒後の経過観察も重要です。C型肝炎と反対に増えているのが、生活習慣病であるアルコール性肝障害と非アルコール性脂肪肝炎で、2007年までの計15.9%から2014年以降には計34%に増えています(図)。今後は精神科医師と協力して2019年に保険適用となった飲酒量低減薬によるアルコール性肝障害に対する治療が必要であると考えています。また、治療薬がない非アルコール性脂肪肝炎の治療については、治験に参加して新規治療薬の開発に携わっています。肝癌は、2020年9月に免疫チェックポイント阻害薬が保険適用となり、治療のフローチャートが変わりつつありますが、今後も外科、放射線科、放射線治療科と協力して最適な治療を提供していきたいと思ひます。

図 日本における肝硬変の背景肝疾患



Enomoto H, et. al. J Gastroenterol. 2019



2021年1月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



2021年1月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>







# ご報告

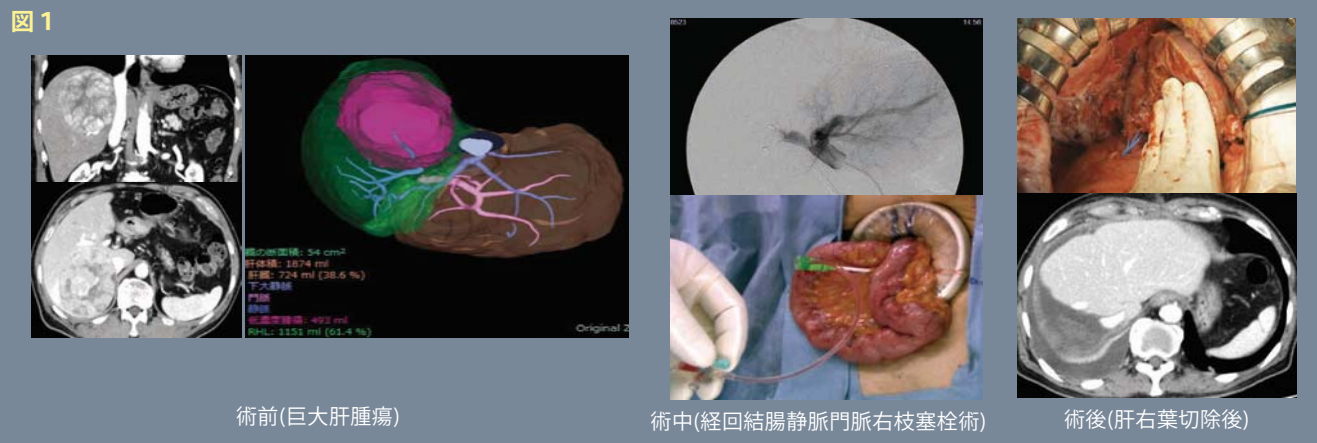
## 他科と連帯した集学的高難度肝胆膵外科治療

肝・胆・膵外科 副診療科長 講師 かわばた やすなり  
川畑 康成

薬物療法の進歩した現在においても、肝・胆・膵臓の悪性腫瘍の根治には外科切除が必須です。しかし、肝・胆・膵臓の悪性腫瘍は症状が出現し難く、進行した状態で診断される場合が未だに少なくありません。われわれ肝・胆・膵外科はこのような進行癌を根治切除に導くべく、他科と連帯した集学的高難度肝胆膵外科治療を実践しています。

### 放射線科との連帯

切除不能を切除可能にする Interventional Radiology(IVR) を駆使した肝臓・膵臓手術  
進行肝癌や胆道癌に対して大量肝切除後の肝不全予防を目的とした門脈塞栓術  
巨大肝癌に対する 2 期的肝切除を可能にした経回結腸静脈門脈右枝塞栓術 (図 1)



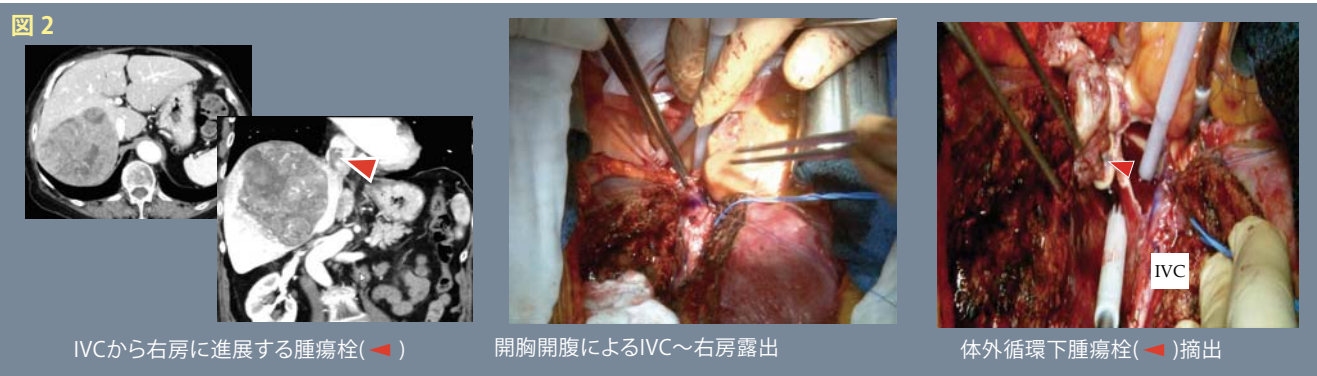
術前(巨大肝腫瘍)

術中(経回結腸静脈門脈右枝塞栓術)

術後(肝右葉切除後)

### 心臓血管外科との連帯

切除不能を克服する血管技術を駆使した肝臓・膵臓切除術  
右房に進展する腫瘍栓を伴う進行巨大肝癌に対する人工心肺装置を駆使した肝臓手術 (図 2)



IVCから右房に進展する腫瘍栓(◀)

開胸開腹によるIVC~右房露出

体外循環下腫瘍栓(◀)摘出



# お知らせ

## おでかけランチ

### 吉野家さんの牛丼とカレーハウスCoCo壱番屋さんの特製カレーの提供

栄養治療室

11月29日と12月13日の日曜日の昼食に、吉野家さんの牛丼とカレーハウス CoCo 壱番屋さんの特製カレーをそれぞれ提供いたしました。

当院では、入院生活の中でも季節感を感じていただけるよう、正月、ひな祭り、端午の節句、土用の丑の日、お月見、クリスマスなどの行事にあわせて、行事食を提供させていただいておりますが、今回初めて、給食業務を担当している日清医療食品の提案により、いつもと違う昼食を楽しんでいただく「おでかけランチ」を企画しました。

現在、COVID-19のため、入院患者さんの外出泊が制限されております。今回の企画では、患者さんに少しでも普段と違う食事、外食の気分を味わっていただくことができるのではないかと思います準備いたしました。

初めての取り組みとなりましたが、患者さんからは、「本当にうれしかったです。テンションが上がりました。」「入院中にココイチのカレーが食べれるなんて感激しました」などの感想をいただきました。

食事でもみなさんが元気になっていただけるよう、毎日準備しております。食事を通して少しでも楽しみを感じていただけるよう、これからもいろいろな企画を行っていきたくと思っています。

※今回の企画は、食事に制限のない一般食の患者さんのみとさせていただきます。ご理解いただきますようお願いいたします。





# お知らせ

## 小さな命の未来のために

NICUのリニューアル



プライバシーを守るスクリーンの設置



0 330 1,000



一人の子どものために、  
今できることを。  
そして将来の幸せのために。

島根大学医学部附属病院

## 周産期母子医療センターがクラウドファンディングに挑戦！

周産期母子医療センター たけたに たけし  
竹谷 健

この度、島根大学医学部附属病院・周産期母子医療センターがクラウドファンディングに挑戦することになりました！

今まで、「白い無機質」だったセンターの壁を、赤ちゃんやご家族が少しでも安心していただけるような「温かい」空間にリニューアルいたします！

NICUに入院する家族は、産後すぐにわが子と離ればなれになります。

わが子は大丈夫なのだろうか、苦しい思いをしていないだろうか、わが子の病状を心配し、先の見えない不安を抱えています。時には、わが子を健康に産んであげられなかった、病気になったのは自分のせいなのではないかと、自分を責めるお母さんも少なくありません。

自分の産後の体調も戻らないうちに、それでも大切なわが子に会いたい一心で面会に来るお母さんが、白い無機質な廊下を歩いて、少しでも不安が強まらないように。

慣れない病院で、赤ちゃんに会いに来た家族が、少しでも気持ちが和らぐように。

知らない建物、知らない人たちの中で、勇気を出して自分の弟や妹に会いに来てくれたお兄ちゃんやお姉ちゃんが、少しでも楽しくなるように。

赤ちゃん(NICU)までの道のりが、少しでも家族にとって明るいものであるように。

私たち(医療者)にできることは限られているけれど、そんな赤ちゃんの家族がNICUに来てくれた喜びや感謝を伝えられるような、優しい環境にしたいと思っています。

皆様からの温かいご支援を、よろしくお願いいたします。

<https://readyfor.jp/projects/shimanemed>

